

民児協だより



心をつなぐ新旭

発行者 新旭民生委員児童委員協議会
連絡先 高島市役所社会福祉課 25-8120



高島民児協との交流会

7月16日午前9時から12時まで高島民生委員児童委員協議会との交流会に参加しました。高齢者部会・児童部会・障がい者部会の3部会に分かれ、活動の取り組みや成果の報告などの交流を行いました。その後、日本赤十字社滋賀支部から「赤十字社の活動」「災害への備えと対応」「災害時における高齢者支援」などについてスライドを通して説明を受けました。



部会別事業の取り組み

高齢者部会事業

6月定例会において認知症サポート研修会を受講しました。



9月に感染症対策を万全にして、敬老の日の訪問を行い安否確認をしました。



5月にも訪問活動を行いました。

障がい者部会事業

7月定例会において高島市障がい福祉課の方から「障害者虐待防止法」について学び、障害がある方の人権について学びを深めました。ユニバーサルデザインの考え方を生かしたユニバーサル社会環境の形成と心のバリアフリーの必要性を再認識した時間でした。



児童部会事業



8月30日 町内2小学校に、児童の安全な登下校と安全意識の高揚に役立ててもらおうと交通安全旗を贈呈させて頂きました。また、民生委員児童委員にもそれぞれの学区の旗が配布され、該当地域児童の登下校見守り活動に活躍しています。



各学校のボランティアグループ(希望の会・夢の会)の方々や交通安全協会の方などの多くの目が行き届いている現状は素晴らしい環境です。児童・生徒個々が危険予知能力を培う安全意識の定着が望まれます。

第1回全員研修会 7月29日(木) 高島市民会館大ホールにて行われました。

講演：「笑って前向きに！」と題して、講師は夫婦漫才で活躍されている中山まさとも氏より、ポジティブに生きる良さについて学びを頂きました。ある調査から、成功者は「目標に向かって諦めない人」。失敗者は「目標を立てて頑張るが、周りから無理だと言われたり、1度失敗したりすると諦めてやめてしまう人」と違いを教わりました。



また、成功者が全員口をそろえて唱える言葉が「黄金律」(ゴールデンルール)で、「相手が望むことをしてあげる」ということ。人間

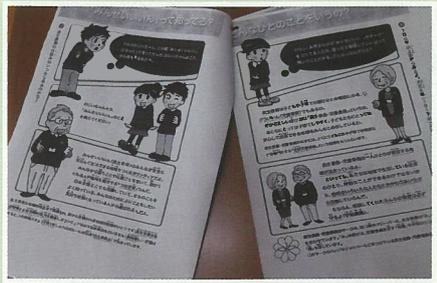


は脳みそで生きている。成功するには成功したことだけをイメージすることにより潜在意識に刷り込まれる。人間が意識して使える脳は3%、残りの97%は潜在的にねむっている。

固定概念に縛られないこと・思い込みを持たないこと・人を支援することで大事なことは「寄り添うこと」「その人を理解すること」など支援者として大切なワードを教わり、貴重な時間を過ごすことができました。後半の夫婦(つかさ氏)漫才もとても楽しかったです。感謝。

福祉学習のゲストティーチャー

6月14日午前、湖西中学校3年生3クラスの福祉学習の講師として新旭民生委員児童委員協議会大藤会長が



「民生委員児童委員の活動について」説明を行いました。地域の行事や活動に積極



的に参加し、地域とかがわることが地域を知ることにつながるので、積極的に地域行事に協力してほしいと意見を伝えました。

地域で暮らす福祉の担い手としての活動を期待したいものです。

編集後記

2年にもおよぶコロナ禍の中で、東京オリンピックが開催され、選手たちの活躍に励まされる場面もあったことと思います。しかし、開催終了後に感染者数が増加し、またまた緊急事態宣言が多くの都道府県に発出されました。日常生活における制限が長引きストレスをため込んでしまう方々も多く、健康面で心配を抱える方も増加していると聞きます。心身の健康のバランスの大切さを感じる2年間でもありました。そこで、日々の健康の指標として下記のような健康訓を見つけました。如何でしょうか。



「十少十多の健康訓」

二木謙三博士

- 一. 食うことを少なくして、噛むことを多くせよ。
- 二. 乗ることを少なくして、歩くことを多くせよ。
- 三. 着ることを少なくして、浴びることを多くせよ。
- 四. 悶ゆることを少なくして、働くことを多くせよ。
- 五. 怠けることを少なくして、学ぶことを多くせよ。
- 六. 語ることを少なくして、聞くことを多くせよ。
- 七. 怒ることを少なくして、笑うことを多くせよ。
- 八. 言うことを少なくして、行うことを多くせよ。
- 九. 取ることを少なくして、与えることを多くせよ。
- 十. 責めることを少なくして、誉めることを多くせよ。

二木謙三(ふたぎけんぞう)
1873年(明治6年)〜1966年(昭和41年)
秋田県生まれ、日本の細菌学者、医師。